

岩手県立大学

Iwate Prefectural University

令和8年度

入学者選抜要項

実施日程や選抜方法に変更が生じた際は、随時本学ホームページにてお知らせします。

目 次

令和8年度入学者選抜の変更点	1
I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	
1 岩手県立大学のアドミッション・ポリシー	3
2 各学部のアドミッション・ポリシー	4
看護学部	4
社会福祉学部	4
ソフトウェア情報学部	5
総合政策学部	5
II 令和8年度入学者選抜の概要（新入学）	
1 募集人員	6
2 入学者選抜日程	7
3 障がい等による配慮事前相談について	8
<各選抜概要>	
○一般選抜（前期日程・中期日程・後期日程）	9
看護学部	10
社会福祉学部	11
ソフトウェア情報学部	12
総合政策学部	13
○総合型選抜	14
○学校推薦型選抜（一般）	15
○学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）	17
○帰国生徒選抜	19
○社会人選抜	21
○私費外国人留学生選抜	22
III 令和8年度入学者選抜の概要（編入学）	24
IV 令和7年度入学者選抜合格者成績統計及び選抜結果	
1 一般選抜合格者成績統計	30
2 学校推薦型選抜合格者成績統計	30
3 選抜結果（新入学）	31
4 選抜結果（編入学）	32
V 令和9年度入学者選抜の変更点	33
VI 参考資料	
1 学生募集要項等の公開時期	34
2 資料請求方法	34
3 個人情報の取り扱いについて	36
4 インターネット・SNS を利用した入試情報の提供	36
5 岩手県立大学までの交通	36
6 岩手県立大学への問い合わせ	37

<ご案内>インターネット出願について

岩手県立大学ではインターネット出願を導入しております。出願の流れは、各選抜の募集要項をご確認ください。なおインターネットの利用が難しい場合は、出願開始前に教育支援室入試グループにご相談ください。

令和 8 年度入学者選抜の変更点

(下線部が変更箇所)

1 看護学部

(1) 看護学部における学校推薦型選抜（一般）の推薦人数及び一般選抜（前期日程）の募集人員を以下のとおり変更します。

変更前				変更後			
学校推薦型選抜（一般） 各高等学校等からの推薦人数について				学校推薦型選抜（一般） 各高等学校等からの推薦人数について			
学部・学科		推薦できる人数		学部・学科		推薦できる人数	
看護学部	看護学科	2名以内		看護学部	看護学科	3名以内	
募集人員				募集人員			
定員	募集人員			定員	募集人員		
	一般選抜		学校推薦型選抜		一般選抜		学校推薦型選抜
	前期	後期	一般		前期	後期	一般
90	53	10	27	90	48	10	32

(2) 看護学部における編入学の出願資格及び選抜方法を次のとおり変更します。

	変更前	変更後													
編入学 (一般)	1 出願資格 次のいずれかに該当する者 ① 看護系短期大学を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者 ② 看護系専修学校専門課程を修了した者及び令和 8 年 3 月修了見込みの者 ③ 高等学校等の専攻科において看護に関する学科を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者	1 出願資格 次のすべてに該当する者 ① 次のいずれかに該当する者 ア 看護系短期大学を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者 イ 看護系専修学校専門課程を修了した者及び令和 8 年 3 月修了見込みの者 ウ 高等学校等の専攻科において看護に関する学科を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者 ② 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者 ア ①に掲げる学校において、英語の科目を 4 単位以上修得していること。 イ 実用英語技能検定 2 級以上の資格を有していること。 ウ TOEIC など看護学部が認める検定試験を 2024 年 4 月以降に受検し、実用英語技能検定 2 級以上と同等の試験結果を得ていること。													
	2 選抜方法 学力検査及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。	2 選抜方法 学力検査（看護学、但し英語の問題は含まない）及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。													
	3 配点 <table><tr><td>看護学</td><td>英語</td><td>面接</td><td>合計</td></tr><tr><td>200</td><td>100</td><td>50</td><td>350</td></tr></table>	看護学	英語	面接	合計	200	100	50	350	3 配点 <table><tr><td>看護学</td><td>面接</td><td>合計</td></tr><tr><td>200</td><td>50</td><td>250</td></tr></table>	看護学	面接	合計	200	50
看護学	英語	面接	合計												
200	100	50	350												
看護学	面接	合計													
200	50	250													

編入学 (推薦)	1 出願資格 次のすべてに該当し、学長又は校長が責任を持って推薦できる者 ①～③ (略) 2 選抜方法 学力検査及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。 3 配点 <table><tr><td>看護学</td><td>英語</td><td>面接</td><td>合計</td></tr><tr><td>200</td><td>100</td><td>50</td><td>350</td></tr></table>	看護学	英語	面接	合計	200	100	50	350	1 出願資格 次のすべてに該当し、学長又は校長が責任を持って推薦できる者 ①～③ (略) ④ 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者 ア ①に掲げる学校において、英語の科目を4単位以上修得していること。 イ 実用英語技能検定2級以上の資格を有していること。 ウ TOEIC など看護学部が認める検定試験を2024年4月以降に受検し、実用英語技能検定2級以上と同等の試験結果を得ていること。 2 選抜方法 学力検査（看護学、但し英語の問題は含まない）及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。 3 配点 <table><tr><td>看護学</td><td>面接</td><td>合計</td></tr><tr><td>200</td><td>50</td><td>250</td></tr></table>	看護学	面接	合計	200	50	250
看護学	英語	面接	合計													
200	100	50	350													
看護学	面接	合計														
200	50	250														
編入学 (助産師養成特別)	1 出願資格 次のA又はBのいずれかに該当する者 A 次のすべてに該当する者 ①～⑤ (略) B 次のすべてに該当する者 ①～⑥ (略) 2 選抜方法 学力検査及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。 助産師養成特別選抜に係る学力検査「看護学」における配点の2分の1は、母性看護学とします。 3 配点 <table><tr><td>看護学</td><td>英語</td><td>面接</td><td>合計</td></tr><tr><td>200</td><td>100</td><td>50</td><td>350</td></tr></table>	看護学	英語	面接	合計	200	100	50	350	1 出願資格 次のA又はBのいずれかに該当する者 A 次のすべてに該当する者 ①～⑤ (略) ⑥ 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者 ア ①に掲げる学校において、英語の科目を4単位以上修得していること。 イ 実用英語技能検定2級以上の資格を有していること。 ウ TOEIC など看護学部が認める検定試験を2024年4月以降に受検し、実用英語技能検定2級以上と同等の試験結果を得ていること。 B 次のすべてに該当する者 ①～⑥ (略) ⑦ 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者 ア ①に掲げる学校において、英語の科目を4単位以上修得していること。 イ 実用英語技能検定2級以上の資格を有していること。 ウ TOEIC など看護学部が認める検定試験を2024年4月以降に受検し、実用英語技能検定2級以上と同等の試験結果を得ていること。 2 選抜方法 学力検査（看護学、但し英語の問題は含まない）及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。 助産師養成特別選抜に係る学力検査「看護学」における配点の2分の1は、母性看護学とします。 3 配点 <table><tr><td>看護学</td><td>面接</td><td>合計</td></tr><tr><td>200</td><td>50</td><td>250</td></tr></table>	看護学	面接	合計	200	50	250
看護学	英語	面接	合計													
200	100	50	350													
看護学	面接	合計														
200	50	250														

I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 岩手県立大学のアドミッション・ポリシー

■求める学生像

岩手県立大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 岩手県立大学の「建学の理念」と「大学の基本的方向」に共感する人
- (2) 入学までの学修によって基礎的な知識・技能と、思考力・判断力・表現力を身に付けている人
- (3) 多様な人々と協働しながら、知識・技能を活用して主体的に学び続ける意欲がある人
- (4) 自己成長と社会貢献を目指す人

■入学者選抜の基本的な考え方

岩手県立大学では、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。

- (1) 岩手県立大学の「求める学生像」に相応しい入学者を、公平かつ厳正に選抜します。
- (2) 多様な選抜区分と選考方法によって、多面的・総合的に評価します。

■建学の理念

「自然」、「科学」、「人間」が調和した新たな時代を創造することを願い、人間性豊かな社会の形成に寄与する、深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律的な人間を育成する大学を目指します。

■大学の基本的方向

- (1) 豊かな教養の修得と人間尊重の精神の涵養
- (2) 学際的領域を重視した特色ある教育・研究
- (3) 実学・実践重視の教育・研究
- (4) 地域社会への貢献
- (5) 国際社会への貢献

2 各学部のアドミッション・ポリシー

看護学部

■求める学生像

岩手県立大学の全学のアドミッション・ポリシーのもと、看護学部では、次のような資質を備えた学生を求めています。

- (1) 自ら学習を計画し、継続的に学ぶことができる人（主体性）
- (2) 自分の考えを他者に伝えるように表現できる人（思考力・判断力・表現力）
- (3) 幅広く高校までの学習を身に付けている人（知識・技能）
- (4) 積極的に人と関わり、良好な関係を持つことができる人（主体性・多様性・協働性）
- (5) 看護学を探究する意欲があり、地域や地域で生活する人々へ貢献する志のある人（主体性・協働性）

■選抜の基本方針

看護学部の入学者選抜には、学校推薦型選抜、一般選抜（前期日程・後期日程）があります。

- (1) 一般選抜（前期日程・後期日程）では、大学入学共通テスト、小論文、面接により評価します。大学入学共通テストでは、高等学校等において身に付けた基礎学力を評価します。

小論文では、読解力（和文・図表などを正確に読みとる能力）と論理的思考力（的確な分析にもとづいて論理的に考える能力）、文章表現力（分かりやすい表現で記載する能力）を評価します。

面接では、大学で看護学を学ぶことに対する意欲、適性、コミュニケーション能力や表現力を総合的に評価します。後期日程では、小論文と面接を重視します。

- (2) 学校推薦型選抜では、提出書類を参考とし、基礎学力問題と面接により評価します。

基礎学力問題では、国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学Ⅱ（全範囲）の学習範囲を中心として、文章理解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを測ります。

面接では、大学で看護学を学ぶことに対する意欲、適性、コミュニケーション能力や表現力、求める学生像(5)に関連して岩手県に貢献する志を総合的に評価します。

それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の3要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	共通テスト	○		
	小論文		○	
	面接		○	○
学校推薦型選抜	提出書類	△		
	基礎学力問題	○	○	
	面接		○	○
帰国生徒選抜 社会人選抜	基礎学力問題	○	○	
	面接		○	○
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	○		
	基礎学力問題	○	○	
	面接		○	○

社会福祉学部

■求める学生像

社会福祉学部では、本学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 高校卒業相当の基礎的な学力を身に付けている人
- (2) 社会的な課題を多様な側面から考えることができる人
- (3) 自分の考えを論理的に表現できる人
- (4) 相手と交互に議論ができるコミュニケーション能力を有している人
- (5) 社会福祉に対して興味・関心・情熱をもっている人
- (6) 主体的に勉学に取り組むことができる人
- (7) 自らの目標を設定し、その達成に向け努力している人

■選抜の基本方針

入学志願者の個性や資質、社会福祉に対する意欲等、多様な潜在能力に配慮しながら、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜、学校推薦型選抜など多様な選抜区分を採用しています。

一般選抜（前期日程）では、調査書によって「求める学生像」の(6)を確認するとともに、大学入学共通テストによって(1)、総合問題によって(1)(2)(3)を確認します。

一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テストによって「求める学生像」の(1)を確認するとともに、小論文によって(2)(3)、面接によって(2)(3)(4)(5)を確認します。

総合型選抜では、一次選考の提出書類の審査によって「求める学生像」の(1)(5)(6)(7)を確認します。そして、二次選考の面接試験によって(3)(4)(7)、講義理解力試験によって(1)(2)(3)を確認します。

学校推薦型選抜では、高校からの推薦をもって「求める学生像」の(1)を有すると見なし、小論文によって(2)(3)、面接によって(2)(3)(4)(5)を確認します。

それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の3要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 前期	調査書			△
	共通テスト	○		
	総合問題		○	
一般選抜 後期	共通テスト	○		
	小論文		○	
	面接		○	○
総合型選抜	提出書類	○		○
	面接		○	○
	講義理解力試験	○	○	
学校推薦型選抜	提出書類	△		
	小論文		○	
	面接		○	○
帰国生徒選抜 社会人選抜	小論文	△	○	
	面接		○	○
	日本留学試験	△		
私費外国人留学生選抜	小論文	△	○	
	面接		○	○

ソフトウェア情報学部

■求める学生像

ソフトウェア情報学部では、本学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、コンピュータやソフトウェア、情報に強い関心や興味を持っており、かつ、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めています。

- (1) 人間、社会に対して強い関心や興味がある人
- (2) 将来、社会で役に立ちたいという夢や希望を持っている人
- (3) よく観察し、筋道を立てて考え、自分の考えを人に伝えることができる人
- (4) 高校教育課程で定められた基礎学力を身に付けており、得意科目や得意分野、特技を持っている人

■選抜の基本方針

ソフトウェア情報学部の入学者選抜には、一般選抜（前期日程、中期日程）、総合型選抜、学校推薦型選抜（一般、専門高校・総合学科）等の区分があり、その基本方針は以下のとおりです。

- (1) 一般選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査により評価を行います。
- (2) 総合型選抜では、提出書類と面接により評価を行います。
- (3) 学校推薦型選抜等では、総合判定資料（書類、面接）と基礎学力問題により評価を行います。

それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素を以下に記します。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

選抜方法と学力の3要素との対応				
選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	共通テスト	○	△	
	個別学力検査	△	○	
総合型選抜	提出書類	○	△	○
	面接	△	○	○
学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜 私費外国人 留学生選抜	総合判定資料（書類）	○	△	○
	総合判定資料（面接）	△	○	△
	基礎学力問題	○	△	

総合政策学部

■求める学生像

総合政策学部では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 現代社会における多様な事象を把握するための前提知識として、高校卒業相当の基礎的かつ全般的な学習内容を身に付けている人
特に以下の点を重視する。
 - ・読解力（英語を含む）
 - ・文章作成能力
 - ・基礎的な数学的思考能力
- (2) 社会や自然環境等に広く関心を持ち、それらの理解に必要な情報を収集できる。さらに収集した情報を適切に関連付けながら問題を発見し、その解決策を導くための論理的思考能力を身に付けている人
- (3) 自分の考えを適切に表現し、積極的に他者の考えを理解しようとする人

※学力の3要素の対応として(1)は知識・技能、(2)は思考力・判断力・表現力、(3)は主体性・多様性・協働性である。

■選抜の基本方針

総合政策学部では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。重視する度合いが高い順に○、△となっています。

求める学生像と選抜方法との対応				
求める学生像 選抜区分・選抜方法		(1)	(2)	(3)
一般選抜	共通テスト	○		
	個別学力検査	○	○	
	調査書・志望理由書			△
総合型選抜	提出書類	△	○	○
	面接		○	○
学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	総合問題	△	○	
	面接		△	○
私費外国人 留学生選抜	小論文	△	○	
	面接		△	○

Ⅱ 令和 8 年度入学者選抜の概要（新入学）

1 募集人員

（単位：名）

学部・学科		入学 定員	募 集 人 員						
			一般選抜			総合型 選抜	学校推薦型選抜		帰国生徒選抜 社会人選抜 私費外国人留学生選抜
			前期 日程	中期 日程	後期 日程		一 般	専門高校 ・ 総合学科	
看護学部	看護学科	90	48	—	10	—	32	—	各若干名
社会福祉学部	社会福祉学科 人間福祉学科	90	40	—	9	4	〔県内〕 27 〔全国〕 10	若干名	各若干名
ソフトウェア 情報学部	ソフトウェア 情報学科	160	70	15	—	20	〔県内〕 30 〔全国〕 5	20	各若干名
総合政策学部	総合政策学科	100	50	—	20	若干名	30	—	各若干名
合計		440	208	15	39	24	134	20	—

注) 社会福祉学部では、定員を学科では分けず、学部全体で募集する「大括り（一括）入試」となっています。
2年次より学科配属となります。

(1) 「岩手県内者」の募集人員等について

ア 看護学部及び総合政策学部において、学校推薦型選抜（一般）は「岩手県内者」が出願できます。

イ 社会福祉学部において、学校推薦型選抜（一般）の〔県内〕は「岩手県内者」から、〔全国〕は「岩手県内者」であるか否かに関わらず出願できます。

ウ ソフトウェア情報学部において、「岩手県内者」は、学校推薦型選抜（一般）の〔県内〕、〔全国〕及び学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）に、高校からの推薦人数の制限なく出願できます。ただし、それぞれにおいて併願はできません。岩手県内者以外の者については、その高校から、学校推薦型選抜（一般）の〔全国〕及び学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）に合わせて4名以内が出願できます。ただし、それぞれにおいて併願はできません。

※ 「岩手県内者」とは、岩手県内の高校を卒業見込み等の者、及び本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前から引き続き岩手県内に住所を有する者をいいます。
選抜ごとの詳しい要件については、それぞれのページの「出願資格」をご確認ください。

(2) 学校推薦型選抜における各高等学校からの推薦人数について

各高等学校等（本校、分校を問いません。）から看護学部に対し3名、総合政策学部に対し2名、社会福祉学部に対し学校推薦型選抜（一般）では岩手県内高校からは〔県内〕に4名、〔全国〕に2名、岩手県外高校からは〔全国〕に2名、学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）では1名、ソフトウェア情報学部に対し岩手県内高校からは学校推薦型選抜（一般）の〔県内〕、〔全国〕及び学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）に人数制限なし、岩手県外高校からは学校推薦型選抜（一般）の〔全国〕及び学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）に合わせて4名（「岩手県内者」を除く。）の推薦が可能です。

さらに岩手県内の定時制課程（分校は本校に含める）からは学校推薦型選抜（一般）の社会福祉学部に対し〔県内〕及び〔全国〕にそれぞれ1名、総合政策学部に1名の追加推薦が可能です。岩手県外の定時制課程（分校は本校に含める）からは、学校推薦型選抜（一般）の社会福祉学部に対し〔全国〕に1名の追加推薦が可能です。

また、通信制課程（分校は本校に含める）がある高等学校からは定時制課程と同様に追加推薦が可能です。

なお、統合に伴い、旧高等学校の生徒が統合校へ移行する場合は、その生徒が卒業するまでの間、統合前の旧高等学校ごとの推薦が可能です。

推薦できる人数 学部・学科		一 般			専門高校・総合学科
		推薦できる人数	定時制課程（分校は本校に含める）から追加推薦できる人数	通信制課程（分校は本校に含める）から追加推薦できる人数	推薦できる人数
看護学部	看護学科	3名以内	—	—	—
社会福祉学部	社会福祉学科 人間福祉学科	岩手県内高校〔県内〕4名以内 〔全国〕2名以内 岩手県外高校〔全国〕2名以内	岩手県内高校〔県内〕+1名 〔全国〕+1名 岩手県外高校〔全国〕+1名	岩手県内高校〔県内〕+1名 〔全国〕+1名 岩手県外高校〔全国〕+1名	1名
総合政策学部	総合政策学科	2名以内	+1名	+1名	—
ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科	岩手県内高校は学校推薦型選抜（一般）の〔県内〕、〔全国〕及び学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）を合わせて制限なし。 岩手県外高校は学校推薦型選抜（一般）の〔全国〕及び学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）を合わせて4名以内（「岩手県内者」を除く）。			
岩手県内高校から推薦できる人数の合計 （定時制課程及び通信制課程追加推薦分を除く）		・看護学部 3名以内 ・社会福祉学部 7名以内 ・ソフトウェア情報学部 制限なし ・総合政策学部 2名以内			

注）岩手県外高校からの推薦については、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前（令和6年11月11日）から引き続き岩手県内に住所を有する者であれば、看護学部、総合政策学部は上記表内の人数の推薦が可能です。さらに社会福祉学部は学校推薦型選抜（一般）の〔県内〕枠に4名推薦が可能です。また、ソフトウェア情報学部は一般の〔県内〕、〔全国〕及び専門高校・総合学科に推薦人数の制限なく出願できます。

2 入学者選抜日程

選抜区分等		出願等受付	試験日	合格発表	入学手続
総合型 選抜	社会福祉学部	〔第1次選考〕 令和7年9月1日(月) ～ 令和7年9月3日(水)	〔第1次選考〕 書類審査	〔第1次選考結果〕 令和7年9月24日(水)	令和7年11月10日(月) ～ 令和7年11月14日(金)
	ソフトウェア 情報学部	〔第2次選考〕 令和7年9月26日(金) ～ 令和7年9月30日(火)	〔第2次選考〕 令和7年10月11日(土) ～ 令和7年10月12日(日)	〔第2次選考結果〕 令和7年11月4日(火)	
	総合政策学部				
学 校 推 薦 型 選 抜		令和7年11月4日(火) ～ 令和7年11月11日(火)	令和7年11月30日(日)	令和7年12月9日(火) (私費外国人除く)	令和7年12月16日(火) ～ 令和7年12月22日(月)
帰 国 生 徒 選 抜					
社 会 人 選 抜					
私費外国人留学生選抜				令和8年1月23日(金) (私費外国人)	令和8年1月28日(水) ～令和8年2月2日(月)
一般選抜 (前期日程)	全学部	令和8年1月26日(月) ～ 令和8年2月4日(水)	令和8年2月25日(水)	令和8年3月5日(木)	令和8年3月9日(月) ～ 令和8年3月15日(日)
一般選抜 (中期日程)	ソフトウェア 情報学部		令和8年3月8日(日)	令和8年3月20日(金)	
一般選抜 (後期日程)	看護学部 社会福祉学部 総合政策学部		令和8年3月12日(木)		

3 障がい等による配慮事前相談について

本学に入学を志願する者で、障がいがある等、受験上及び就学上の配慮を希望する場合は、教育支援室入試グループへ下記の期限までに申し出てください。

この申し出がない場合、受験上及び就学上の配慮を行うことが難しくなることがあります。日常生活において使用している補聴器、車椅子等を持参しようとする場合も、申請が必要です。

障がいの程度によっては、受験上の配慮（障がいの程度に応じ、例えば、視覚障がいの場合は、試験時間の1.3倍延長・別室での受験・拡大文字による出題、下肢機能障がいの場合は、車椅子での受験・試験室への誘導等）を行うことがあります。

(1) 相談の期限

総合型選抜	令和7年8月7日（木）
学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜	令和7年10月8日（水）
一般選抜（前期日程、中期日程、後期日程）	令和7年12月19日（金）

(2) 相談の方法

所定の「配慮申出書」に所要事項を記入のうえ提出してください。必要な場合は、志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談等を行います。

「配慮申出書」の請求については、教育支援室入試グループへお問い合わせください。

事前相談期限後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため配慮を希望する場合は、すみやかに申し出てください。

一般選抜（前期日程・中期日程・後期日程）

募集人員

学部・学科		前期日程	中期日程	後期日程
看護学部	看護学科	48名	—	10名
社会福祉学部	社会福祉学科・人間福祉学科	40名	—	9名
ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科	70名	15名	—
総合政策学部	総合政策学科	50名	—	20名
合 計		208名	15名	39名

実施日程

	前期日程	中期日程	後期日程
出願期間	令和8年1月26日(月)～令和8年2月4日(水)		
試験日	令和8年2月25日(水)	令和8年3月8日(日)	令和8年3月12日(木)
合格発表日	令和8年3月5日(木)	令和8年3月20日(金)	

出願資格

次のいずれかに該当する者で、さらに令和8年度大学入学共通テストで本学の指定する教科・科目を受験している者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条（第6号を除く）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※出願資格の(3)について、学校教育法施行規則第150条第7号の規定に基づく「個別の入学資格審査」を受けて出願しようとする者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、本学ホームページで確認してください。

出願上の注意

本学が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は失格者となり、個別学力検査を受験することができません。

ソフトウェア情報学部の一般選抜（中期日程）においては、入学志願者倍率が30倍を超え、試験を適切に行うことが困難であると想定される場合、大学入学共通テストの成績により2段階選抜を行います。

併願上の注意

- (1) 国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」から1大学、「後期日程」から1大学及び公立大学の「中期日程」から1大学の合計3大学まで出願することができます。
- (2) 本学の学内併願については、「前期日程」で4学部から1学部、「中期日程」でソフトウェア情報学部、「後期日程」で看護学部・社会福祉学部・総合政策学部から1学部の合計3学部又は同一の学部に出願することができます。
- (3) 国公立大学の「学校推薦型選抜」等に合格し、入学手続きを行った者は、当該大学の入学辞退の許可を受けた場合を除き、本学を受験しても合格者になりません。（重複して入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）
- (4) 国公立大学の「前期日程」に合格し、入学手続きを行った者は、本学の「中期日程」又は「後期日程」を受験してもその合格者になりません。（重複して入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）

選抜方法

次ページ以降に学部別に掲載しています。

1 選抜方法

前期日程	大学入学共通テスト、本学が実施する小論文及び面接によって選抜します。
後期日程	

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

※太字表示は必須教科・科目

選抜区分	教科	科目
前期日程 後期日程	国語	『国語』
	地理歴史 又は公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』 『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』から1
	数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ』から1 『数学Ⅱ、数学B、数学C』
	理科	『化学』又は『生物』から1 上記で選択した科目を除いて、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』から1
	外国語	『英語』（リスニングを含む）
	情報	『情報Ⅰ』
		〔6教科8科目〕

(注) 地理歴史及び公民から2科目を受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。理科については、化学又は生物が必須です。

3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点

試験区分・ 教科等 選抜区分		大学入学共通テスト								個別学力検査等			合計
		国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	計	小論文	面接	計	
前期日程	6教科 8科目	200	100		200	200	200	100	1,000	100	100	200	1,200
後期日程	6教科 8科目	100	50		100	150	200	100	700	150	100	250	950

(注1) 大学入学共通テストの成績は、令和8年度の成績に限り利用します。

(注2) 後期日程において、大学入学共通テストの国語、数学は素点200点満点を100点満点に、地理歴史と公民は素点100点満点を50点満点に、理科は素点200点満点を150点満点に換算します。

(注3) 看護学部の一般選抜において、面接の評価が一定の基準を満たす者を対象として、総合点（大学入学共通テストと個別学力検査等の合計点）の順位により合格者を決定します。

(注4) 外国語の受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングの素点100点満点を200点満点に換算します。

4 個別学力検査等の出題範囲・出題意図

選抜区分	科目等	出題範囲・出題意図
前期日程 後期日程	小論文	読解力、論理的思考力、文章表現力を評価する問題です。
	面接	出願書類（調査書）を面接の資料とし、意欲、適性、コミュニケーション能力、表現力を総合的に評価します。

5 合否判定基準

選抜区分	合否判定基準
前期日程	面接の評価が一定の基準を満たす者を対象として、総合点（大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の合計点）の順位により判定します。
後期日程	

1 選抜方法

前期日程	大学入学共通テスト及び本学が実施する総合問題によって選抜します。
後期日程	大学入学共通テスト、本学が実施する小論文及び面接によって選抜します。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

※太字表示は必須教科・科目

選抜区分	教科	科目
前期日程	国語	『国語』
	数学	『数学Ⅰ，数学Ⅱ』
	地理歴史 公民 数学 理科 情報	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』『数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ⅳ』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』
	外国語	『英語』（リスニングを含む）
		4教科5科目、5教科5科目
後期日程	国語	『国語』
	地理歴史 公民 数学 理科 情報	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』『数学Ⅰ，数学Ⅱ』『数学Ⅲ，数学Ⅳ』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』
	外国語	『英語』（リスニングを含む）
		3教科3科目

(注1) 前期日程において、地理歴史、公民、数学、理科、情報から2教科の成績を利用します。3教科以上を受験した場合は、高得点の2教科の成績を利用し、1つの教科から2科目以上受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。

(注2) 後期日程において、地理歴史、公民、数学、理科、情報から2科目以上を受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。

3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点

試験区分・ 教科等	選抜区分	大学入学共通テスト								個別学力検査等				合計
		国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	計	総合 問題	小論文	面接	計	
前期日程	4教科5科目	200	(100)	(100)	100	(100)	200	(100)	700	500	—	—	500	1,200
	5教科5科目													
後期日程	3教科3科目	200	(100)	(100)	(100)	(100)	200	(100)	500	—	200	100	300	800

(注1) 大学入学共通テストの成績は、令和8年度の成績に限り利用します。

(注2) 大学入学共通テストの教科の欄中、()の付いた配点は、選択教科(科目)の配点を示します。

(注3) 外国語の受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングの素点100点満点を200点満点に換算します。

4 個別学力検査等の出題範囲・出題意図

選抜区分	科目等	出題範囲・出題意図
前期日程	総合問題	高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、理解力、判断力、論理的思考力、表現力などを総合的に問う記述試験です。
後期日程	小論文	理解力、判断力、論理的思考力、表現力を中心として総合的に評価する問題です。
	面接	志望動機、意欲、理解力、判断力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション力などの観点から総合的に評価します。出願書類(調査書、志望理由書)を面接の資料とします。

5 合否判定基準

選抜区分	合否判定基準
前期日程	総合点(大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の合計点)の順位により判定します。
後期日程	

1 選抜方法

前期日程	大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査（数学）によって選抜します。
中期日程	

（注）中期日程において、入学志願者倍率が30倍を超え、試験を適切に行うことが困難であると想定される場合、大学入学共通テストの成績により2段階選抜を行います。

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

※太字表示は必須教科・科目

選抜区分	教科	科目
前期日程	国語	『国語』
	地理歴史 公民 理科	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』から1
	数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』
	外国語	『英語』（リスニングを含む）
	情報	『情報Ⅰ』
		5教科6科目
中期日程	国語	『国語』
	数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』
	外国語	『英語』（リスニングを含む）
	情報	『情報Ⅰ』
		4教科5科目

（注）前期日程において、可否判定には6科目の成績を利用します。『国語』、『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』、『英語』（リスニングを含む）、『情報Ⅰ』の5科目と、その5科目以外の科目から高得点の1科目の成績を利用します。

3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点

試験区分・ 教科等 選抜区分		大学入学共通テスト								個別学力検査	合計
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	計	数学	
前期日程	5教科6科目	100	(100)	(100)	200	(100)	100	100	600	400	1,000
中期日程	4教科5科目	100			100		100	100	400	400	800

（注1）大学入学共通テストの成績は、令和8年度の成績に限り利用します。

（注2）大学入学共通テストの教科の欄中、（ ）の付いた配点は、選択教科（科目）の配点を示します。

（注3）前期日程において、大学入学共通テストの国語は素点200点満点を100点満点に、外国語は素点200点満点を100点満点に換算します。

（注4）中期日程において、大学入学共通テストの国語は素点200点満点を100点満点に、外国語は素点200点満点を100点満点に換算します。数学は『数学Ⅰ、数学A』100点と『数学Ⅱ、数学B、数学C』100点の合計200点満点を100点満点に換算します。

（注5）外国語の受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングの素点100点満点をそのまま利用します。

4 個別学力検査等の出題範囲・出題意図

選抜区分	科目等	出題範囲・出題意図						内 容
		数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B 数列	数学C ベクトル	
前期日程 中期日程	数 学	○	○	○	○	○	○	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（全範囲）、数学B（数列のみ）、数学C（ベクトルのみ）の学習範囲を中心とし、論理的思考力、数的処理能力、構成力などを問う問題で、記述形式で解答するものです。

5 合否判定基準

選抜区分	合否判定基準
前期日程	個別学力検査の得点が合格基準点以上の者を対象として、総合点（大学入学共通テストの得点と個別学力検査の得点の合計点）の順位により判定します。総合点が同点の場合には、個別学力検査の得点が高い者を上位とします。
中期日程	

1 選抜方法

前期日程	大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査等によって選抜します。
後期日程	

2 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

※太字表示は必須教科・科目

選抜区分	教科	科目
前期日程	国語	『国語』
	地理歴史又は公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』から1
	数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』から1
	外国語	『英語』（リスニングを含む）
	情報	『情報Ⅰ』
		6教科6科目
後期日程	国語	『国語』
	数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1
	外国語	『英語』（リスニングを含む）
	情報	『情報Ⅰ』
		4教科4科目

（注1）前期日程において国語、数学、理科、外国語、情報の5教科5科目と、地理歴史又は公民から1科目の計6教科6科目（地理歴史と公民を1教科として扱います。）の受験を要します。受験した教科・科目が6教科6科目に満たない場合は失格となります。なお、地理歴史、公民から2科目を受験した場合は、高得点の1科目を「地理歴史又は公民」の成績とみなします。数学で2科目を受験した場合は、高得点の1科目を数学の成績とみなします。理科で2科目以上を受験した場合は、高得点の1科目を理科の成績とみなします。

（注2）後期日程にあつては4教科すべてを利用します。数学で2科目を受験した場合は、高得点の1科目を数学の成績とみなします。

3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点

試験区分・ 教科等 選抜区分		大学入学共通テスト							個別学力検査等			合計	
		国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	計	提出 書類	総合 問題		計
前期日程	6教科6科目	100	100		100	100	100	20	520	10	200	210	730
後期日程	4教科4科目	100	—		100	—	100	20	320	10	200	210	530

（注1）大学入学共通テストの成績は、令和8年度の成績に限り利用します。

（注2）大学入学共通テストの国語は素点200点満点を100点満点に、外国語は素点200点満点を100点満点に、情報は素点100点満点を20点満点に換算した上で、前期日程にあつては6教科、後期日程にあつては4教科を利用します。

（注3）外国語の受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングの素点100点満点をそのまま利用します。

（注4）提出書類は、志望理由書と調査書です。

4 個別学力検査等の出題範囲・出題意図

選抜区分	科目等	出題範囲・出題意図
前期日程 後期日程	総合問題	現代の社会がかかえる諸問題について論じた文章及びそれらにかかわる資料・図表を提示し、それらの読解を通して、総合政策学部において学ぶために必要な問題発見力、分析能力、問題解決能力及び表現力をみます。（英語の問題を含みません。）

5 合否判定基準

選抜区分	合否判定基準
前期日程	総合点（大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の合計点）の順位により判定します。
後期日程	

総合型選抜											
実施学部	社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部で実施します。										
募集人員	社会福祉学部	社会福祉学科・人間福祉学科	4名								
	ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科	20名								
	総合政策学部	総合政策学科	若干名								
出願資格	次の(1)から(3)までのすべてを満たす者としてします。 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月に卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 本学の社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部のいずれかの学部での勉学を強く希望し、合格した場合は必ず入学することを確認できる者 (3) 自分自身の能力及びこれまでのさまざまな活動について、高く自己評価できるものを持つ者 ※ 上記(1)の③で、学校教育法施行規則第150条第7号の規定に基づく「個別の入学資格審査」を受けて出願しようとする者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、本学ホームページで確認してください。										
選抜方法・選抜日程	大学入学共通テスト及び個別学力検査を課さず、第1次選考（書類）及び第2次選考（面接等）により、総合的かつ多面的に評価し、可否を判定します。評価にあたっては「能力及びこれまでの活動」と「目的意識・意欲、目標の実現可能性」の2つの側面から総合評価します。 (1) 第1次選考 第1次選考出願時に提出された書類によって選考します。 (2) 第2次選考 面接等のほか、第1次選考時に提出された書類等を総合して選考します。 なお、各学部の選考内容は下記のとおりです。 <table><tr><th>学部</th><th>第2次選考</th></tr><tr><td>社会福祉学部</td><td>面接及び講義理解力試験 ※講義理解力試験：講義の内容を理解し、論じる能力を測るため、社会福祉に関連する内容の講義を聴いた後、講義内容に関する論述試験を実施します。</td></tr><tr><td>ソフトウェア情報学部</td><td>面接において口頭試問を実施 ※口頭試問：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため実施するものです。「数学」（数学Ⅰ）、「情報Ⅰ」の基礎学力に関する内容を出題します。</td></tr><tr><td>総合政策学部</td><td>面接において口頭試問を実施 ※口頭試問：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため実施するものです。思考力や日本語による理解力、表現力を中心に、受験者の特質、実力を発揮できる項目について、高等学校等までの教科だけではなくより広く、詳しく質疑応答を求めるものです。</td></tr></table>			学部	第2次選考	社会福祉学部	面接及び講義理解力試験 ※講義理解力試験：講義の内容を理解し、論じる能力を測るため、社会福祉に関連する内容の講義を聴いた後、講義内容に関する論述試験を実施します。	ソフトウェア情報学部	面接において口頭試問を実施 ※口頭試問：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため実施するものです。「数学」（数学Ⅰ）、「情報Ⅰ」の基礎学力に関する内容を出題します。	総合政策学部	面接において口頭試問を実施 ※口頭試問：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため実施するものです。思考力や日本語による理解力、表現力を中心に、受験者の特質、実力を発揮できる項目について、高等学校等までの教科だけではなくより広く、詳しく質疑応答を求めるものです。
学部	第2次選考										
社会福祉学部	面接及び講義理解力試験 ※講義理解力試験：講義の内容を理解し、論じる能力を測るため、社会福祉に関連する内容の講義を聴いた後、講義内容に関する論述試験を実施します。										
ソフトウェア情報学部	面接において口頭試問を実施 ※口頭試問：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため実施するものです。「数学」（数学Ⅰ）、「情報Ⅰ」の基礎学力に関する内容を出題します。										
総合政策学部	面接において口頭試問を実施 ※口頭試問：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため実施するものです。思考力や日本語による理解力、表現力を中心に、受験者の特質、実力を発揮できる項目について、高等学校等までの教科だけではなくより広く、詳しく質疑応答を求めるものです。										
その他	総合型選抜では大学入学共通テストを課していませんが、社会福祉学部及び総合政策学部では、合格後から大学入学までの勉学意欲を継続させるため、大学入学共通テストの受験を強く推奨し、結果を提出していただいています（検定料は本人負担です）。受験科目は総合型選抜募集要項で確認してください。										

学校推薦型選抜（一般）							
実 施 学 部	全学部（看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部）で実施します。						
募 集 人 員	看護学部	看護学科	32 名				
	社会福祉学部	社会福祉学科・人間福祉学科	〔県内〕 27 名 〔全国〕 10 名				
	ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科	〔県内〕 30 名 〔全国〕 5 名				
	総合政策学部	総合政策学科	30 名				
	各高等学校の推薦人数については、6、7 ページを参照してください。						
出 願 資 格	次の(1)から(4)までのすべてを満たし、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としします。						
	(1) 次のいずれかに該当する者						
	ア 看護学部、社会福祉学部〔県内〕、ソフトウェア情報学部〔県内〕 及び総合政策学部						
	① 岩手県内の高等学校を令和 8 年 3 月に卒業見込みの者〔学校教育法施行規則第 104 条第 3 項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者を含む〕						
	② 岩手県内において、通常の課程による 12 年の学校教育を令和 8 年 3 月に修了見込みの者						
	③ 岩手県外の高等学校若しくは中等教育学校又は通常の課程による 12 年の学校教育を令和 8 年 3 月に卒業（修了）見込みの者〔学校教育法施行規則第 104 条第 3 項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校又は中等教育学校等の卒業を認められる者を含む。〕で、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の 1 年前（令和 6 年 11 月 11 日）から引き続き岩手県内に住所を有する者						
	イ 社会福祉学部〔全国〕 及びソフトウェア情報学部〔全国〕						
	① 高等学校又は中等教育学校を令和 8 年 3 月に卒業見込みの者〔学校教育法施行規則第 104 条第 3 項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校又は中等教育学校の卒業を認められる者を含む。〕						
	② 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 8 年 3 月に修了見込みの者						
	(2) 志望する学部、学科での勉学に対し熱意と適性を有する者						
(3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者							
(4) 看護学部、社会福祉学部又は総合政策学部に入学を志願する者は、調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者。ソフトウェア情報学部に入学を志願する者は、「国」、「数」、「理」、「英」、「情」の 5 教科のうち、少なくとも 3 教科の学習成績の状況がいずれも 4.0 以上の者。なお、主として専門学科において開講される教科「理数」は 2 教科として扱います。							
選 抜 方 法 等	1 選抜方法						
	学部	選抜方法					
	看 護 学 部	提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する基礎学力問題及び面接によって選抜します。					
	社会福祉学部	提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する小論文及び面接によって選抜します。					
	ソフトウェア情報学部	提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、能力・適性をみるため本学が実施する基礎学力問題及び面接によって選抜します。					
	総合政策学部	提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する総合問題及び面接によって選抜します。					
	2 配点						
	学部	小論文	総合問題	基礎学力問題	面接	調査書等	合計
	看 護 学 部	—	—	300	50	面接の資料	350
	社会福祉学部	100	—	—	50	面接の資料	150
	ソフトウェア情報学部	—	—	100	100		200
	総合政策学部	—	150	—	50	面接の資料	200

選抜方法等	3 出題範囲・出題意図		
		科目等	出題範囲・出題意図
	看護	基礎学力問題	国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学A（全範囲）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題で、記述形式で解答するものです。
		面接	出願書類（調査書等）を面接の資料とし、意欲、適性、コミュニケーション能力、表現力を総合的に評価します。
	社会福祉	小論文	理解力、判断力、論理的思考力、表現力を中心として総合的に評価する問題です。
		面接	志望動機、意欲、理解力、判断力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力などの観点から総合的に評価します。出願書類（調査書、志望理由書、推薦書）を面接の資料とします。
	ソフトウェア情報	基礎学力問題	国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（全範囲）、数学B（数列のみ）、数学C（ベクトルのみ）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題です。
		総合判定資料（書類・面接）	志望動機、意欲、適性、基礎学力、表現力などの観点から総合的に評価します。
	総合政策	総合問題	現代の社会がかかえる諸問題について論じた文章及びそれらにかかわる資料・図表を提示し、それらの読解を通して、総合政策学部において学ぶために必要な問題発見力、分析能力、問題解決能力及び表現力をみます。（英語の問題を含みません。）
		面接	志望動機、意欲、適性、能力、表現力などの観点から総合的に評価します。出願書類（調査書、志望理由書、推薦書）を面接の資料とします。
	4 合否判定基準		
		学部	合否判定基準
	看護学部		面接の評価が一定の基準を満たす者を対象として、総合点（基礎学力問題、面接の合計点）の順位により判定します。総合点が同点の場合には、面接の得点が高い者を上位とします。
	社会福祉学部		総合点（小論文、面接の合計点）の順位により判定します。
	ソフトウェア情報学部		基礎学力問題の得点と総合判定資料（調査書等の出願書類及び面接）の得点がいずれも合格基準点以上の者を対象として、総合点（基礎学力問題の得点と総合判定資料の得点の合計点）の順位により判定します。総合点が同点の場合には、総合判定資料の得点が高い者を上位とします。
	総合政策学部		総合点（総合問題、面接の合計点）の順位により判定します。
出願期間	令和7年11月4日（火）～令和7年11月11日（火）		
試験日	令和7年11月30日（日）		
合格発表日	令和7年12月9日（火）		
その他	学校推薦型選抜では大学入学共通テストを課していませんが、看護学部、社会福祉学部及び総合政策学部では、合格後から大学入学までの勉学意欲を継続させるため、大学入学共通テストの受験を推奨しています（検定料は本人負担です）。受験科目は、看護学部は一般選抜受験者と同じ（p.10に記載）、社会福祉学部及び総合政策学部は一般選抜前期日程受験者と同じです（p.11及びp.13に記載）。 また、看護学部、社会福祉学部及び総合政策学部では、入学後に入学生の大学入学共通テストの成績把握と分析を行うため、成績を提出していただきます。このため、大学入学共通テスト志願票の成績通知については「希望する」を選択していただくことを推奨します。		

学校推薦型選抜（専門高校・総合学科）			
実施学部	社会福祉学部、ソフトウェア情報学部で実施します。		
募集人員	社会福祉学部	社会福祉学科・人間福祉学科	若干名
	ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科	20名
	各高等学校の推薦人数については、6、7ページを参照してください。		
出願資格	【社会福祉学部】 次の(1)又は(2)に該当し、かつ、(3)及び(4)に該当する者で高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。 (1) 高等学校設置基準（平成16年3月31日文科科学省令第20号）第6条第2項第5号（家庭に関する学科）又は第8号（福祉に関する学科）の学科を令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 高校の総合学科を令和8年3月卒業見込みの者で、福祉に関する科目から6単位以上又は公民から6単位以上修得（見込みを含む）した者 (3) 合格した場合には、必ず入学することを確認できる者 (4) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (注) 福祉に関する教科・科目 「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「コミュニケーション技術」「生活支援技術」「介護過程」「介護総合演習」「介護実習」など。 また、例示した科目のほか、家庭の教科のうち「子どもの発達と保育」「子ども文化」「生活と福祉」など、福祉と関連の深い科目については、「福祉に関する科目」とみなします。 詳しくは、教育支援室入試グループにお問い合わせください。		
	【ソフトウェア情報学部】 次の(1)から(3)のすべてに該当し、かつ(4)(5)(6)のいずれかに該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者としてします。 (1) 高等学校又は中等教育学校の職業教育を主とする学科又は総合学科を令和8年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校又は中等教育学校の卒業を認められる者を含む。） (2) ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科での勉学に対し熱意と適性を有する者 (3) 合格した場合には、必ず入学することを確認できる者 (4) 調査書の成績概評がAである者 (5) 情報科、情報技術科、情報処理科、情報工学科、情報システム科又は情報ビジネス科を令和8年3月卒業見込みの者で、調査書の「国」、「数」、「理」、「英」、「情」の5教科のうち、少なくとも3教科の学習成績の状況がいずれも4.2以上の者、もしくは、少なくとも3教科の学習成績の状況がいずれも4.0以上の者で、情報に関する高度な資格（注1）を取得している者 (6) (5)以外の学科を、情報に関する科目（注2）を6単位以上修得（見込みを含む）して令和8年3月卒業見込みの者のうち、調査書の「国」、「数」、「理」、「英」、「情」の5教科のうち、少なくとも3教科の学習成績の状況がいずれも4.2以上の者、もしくは、少なくとも3教科の学習成績の状況がいずれも4.0以上の者で、情報に関する高度な資格（注1）を取得している者 (注1) 情報に関する高度な資格 情報に関する高度な資格の例： 「応用情報技術者」、「基本情報技術者」、「ITパスポート」、 「情報セキュリティマネジメント（SG）」、 「全国商業高等学校協会 情報処理検定（ビジネス情報部門）1級」、 「全国商業高等学校協会 情報処理検定（プログラミング部門）1級」、 「全国工業高等学校長協会 情報技術検定 1級」 その他の資格については教育支援室入試グループにお問い合わせください。 (注2) 情報に関する科目 「情報技術基礎」、「電子情報技術」、「プログラミング技術」、「ハードウェア技術」、「ソフトウェア技術」、「コンピュータシステム技術」、「情報処理」、「プログラミング」、「生活産業情報」、「農業情報処理」、「ビジネス情報」、「電子商取引」、「海洋情報技術」、「看護情報活用」、「福祉情報活用」、「情報メディア」など。 その他に「実習」、「課題研究」、「工業技術基礎」、「ビジネス実務」などについても内容が情報と関連が深い場合には「情報に関する科目」とみなすことがあります。詳しくは、教育支援室入試グループにお問い合わせください。		

選抜方法等

1 選抜方法

学部	選抜方法
社会福祉学部	提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する小論文及び面接によって選抜します。
ソフトウェア情報学部	提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに、能力・適性をみるため本学が実施する基礎学力問題（専門高校・総合学科）及び面接によって選抜します。

2 配点

学部	小論文	基礎学力問題 (専門高校・総合学科)	面接	調査書等	合計
社会福祉学部	100	—	50	面接の資料	150
ソフトウェア情報学部	—	100	100		200

3 出題範囲・出題意図

	科目等	出題範囲・出題意図
社会福祉	小論文	理解力、判断力、論理的思考力、表現力を中心として総合的に評価する問題です。
	面接	志望動機、意欲、理解力、判断力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力などの観点から総合的に評価します。出願書類（調査書、志望理由書、推薦書）を面接の資料とします。
ソフトウェア情報	基礎学力問題 (専門高校・総合学科)	国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（全範囲）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題です。このうち、数学に関する問題は、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A」を出題範囲とする選択問題とします。
	総合判定資料 (書類・面接)	志望動機、意欲、適性、基礎学力、表現力などの観点から総合的に評価します。

4 合否判定基準

学部	合否判定基準
社会福祉学部	総合点（小論文、面接の合計点）の順位により判定します。
ソフトウェア情報学部	基礎学力問題（専門高校・総合学科）の得点と総合判定資料（調査書等の出願書類及び面接）の得点がいずれも合格基準点以上の者を対象として、総合点（基礎学力問題（専門高校・総合学科）の得点と総合判定資料の得点の合計点）の順位により判定します。総合点が同点の場合には、総合判定資料の得点が高い者を上位とします。

出願期間

令和7年11月4日（火）～令和7年11月11日（火）

試験日

令和7年11月30日（日）

合格発表日

令和7年12月9日（火）

その他

学校推薦型選抜では大学入学共通テストを課していませんが、社会福祉学部では、合格後から大学入学までの勉学意欲を継続させるため、大学入学共通テストの受験を推奨しています（検定料は本人負担です）。受験科目は、一般選抜前期日程受験者と同じです。

また、社会福祉学部では、入学後に入学生の大学入学共通テストの成績把握と分析を行うため、成績を提出していただきます。このため、大学入学共通テスト志願票の成績通知については「希望する」を選択していただくことを推奨します。

帰国生徒選抜							
実施学部	全学部（看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部）で実施します。						
募集人員	各学部 若干名						
出願資格	日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当する者としします。（保護者が転勤等により先に帰国した場合は、その後の単身在留が1年未満であること。） (1) 外国において、最終学年を含め2年以上継続して学校教育を受け、学校教育における12年の課程(注)を令和6年4月1日から令和8年3月31日までに修了(卒業)した者及び修了(卒業)見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 (2) 外国において、2年以上継続して学校教育を受け、学校教育における12年の課程(注)を中途退学し、引き続き日本の高等学校等の第3学年に編入学を認められた者で、令和8年3月卒業見込みの者 (3) 令和6年又は令和7年に、次のいずれか一つを外国において取得した者 ・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 ・グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA資格)又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 ・欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格 (注) (1)及び(2)において、12年の課程には日本における通常の課程による学校教育の期間も含みます。ただし、外国に設置された教育機関であっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとみなしません。						
選抜方法等	1 選抜方法						
	学部		選抜方法				
	看護学部	本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する基礎学力問題及び面接によって選抜します。					
	社会福祉学部	本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する小論文及び面接によって選抜します。					
	ソフトウェア情報学部	本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する基礎学力問題及び面接によって選抜します。					
	総合政策学部	本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する総合問題及び面接によって選抜します。					
	2 配点						
	学部	小論文	総合問題	基礎学力問題	面接	出願書類	合計
	看護学部	—	—	300	100	面接の資料	400
	社会福祉学部	100	—	—	50	面接の資料	150
	ソフトウェア情報学部	—	—	100	100		200
	総合政策学部	—	150	—	50	面接の資料	200

選抜方法等	3 出題範囲・出題意図		
		科目等	出題範囲・出題意図
	看護	基礎学力問題	国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学A（全範囲）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題で、記述形式で解答するものです。
		面接	出願書類を面接の資料とし、意欲、適性、コミュニケーション能力、表現力を総合的に評価します。
	社会福祉	小論文	理解力、判断力、論理的思考力、表現力を中心として総合的に評価する問題です。
		面接	志望動機、意欲、理解力、判断力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力などの観点から総合的に評価します。出願書類を面接の資料とします。
	ソフトウェア情報	基礎学力問題	国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（全範囲）、数学B（数列のみ）、数学C（ベクトルのみ）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題です。
		総合判定資料（書類・面接）	志望動機、意欲、適性、基礎学力、表現力などの観点から総合的に評価します。
	総合政策	総合問題	現代の社会がかかえる諸問題について論じた文章及びそれらにかかわる資料・図表を提示し、それらの読解を通して、総合政策学部において学ぶために必要な問題発見力、分析能力、問題解決能力及び表現力をみます。（英語の問題を含みません。）
		面接	志望動機、意欲、適性、能力、表現力などの観点から総合的に評価します。出願書類を面接の資料とします。
	4 合否判定基準		
		学部	合否判定基準
		看護学部	面接の評価が一定の基準を満たす者を対象として、総合点（基礎学力問題、面接の合計点）の順位により判定します。
		社会福祉学部	総合点（小論文、面接の合計点）の順位により判定します。
		ソフトウェア情報学部	基礎学力問題の得点と総合判定資料（出願書類及び面接）の得点がいずれも合格基準点以上の者を対象として、基礎学力問題の得点及び総合判定資料により総合的に判定を行います。
		総合政策学部	総合点（総合問題、面接の合計点）の順位により判定します。
出願期間	令和7年11月4日（火）～令和7年11月11日（火）		
試験日	令和7年11月30日（日）		
合格発表日	令和7年12月9日（火）		

社会人選抜							
実施学部	全学部（看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部）で実施します。						
募集人員	各学部 若干名						
出願資格	令和8年4月1日現在で満23歳に達している者で、次のいずれかに該当する者としてします。 (1) 高等学校等を卒業した者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 ※出願資格の(3)で、学校教育法施行規則第150条第7号の規定に基づく「個別の入学資格審査」を受けて出願しようとする者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、本学ホームページで確認してください。						
選抜方法等	1 選抜方法						
	看護学部	本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する基礎学力問題及び面接によって選抜します。					
	社会福祉学部	本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する小論文及び面接によって選抜します。					
	ソフトウェア情報学部	本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する基礎学力問題及び面接によって選抜します。					
	総合政策学部	本学が要求する書類等の出願書類並びに、本学が実施する総合問題及び面接によって選抜します。					
	2 配点						
	学部	小論文	総合問題	基礎学力問題	面接	出願書類	合計
	看護学部	—	—	300	100	面接の資料	400
	社会福祉学部	100	—	—	50	面接の資料	150
	ソフトウェア情報学部	—	—	100	100		200
	総合政策学部	—	150	—	50	面接の資料	200
	3 出題範囲・出題意図						
		科目等	出題範囲・出題意図				
	看護	基礎学力問題	国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学A（全範囲）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題で、記述形式で解答するものです。				
		面接	出願書類を面接の資料とし、意欲、適性、コミュニケーション能力、表現力を総合的に評価します。				
	社会福祉	小論文	理解力、判断力、論理的思考力、表現力を中心として総合的に評価する問題です。				
		面接	志望動機、意欲、理解力、判断力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力などの観点から総合的に評価します。出願書類を面接の資料とします。				
	ソフトウェア情報	基礎学力問題	国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（全範囲）、数学B（数列のみ）、数学C（ベクトルのみ）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題です。				
		総合判定資料（書類・面接）	志望動機、意欲、適性、基礎学力、表現力などの観点から総合的に評価します。				
	総合政策	総合問題	現代の社会がかかえる諸問題について論じた文章及びそれらにかかわる資料・図表を提示し、それらの読解を通して、総合政策学部において学ぶために必要な問題発見力、分析能力、問題解決能力及び表現力をみます。（英語の問題を含みません。）				
		面接	志望動機、意欲、適性、能力、表現力などの観点から総合的に評価します。出願書類を面接の資料とします。				
	4 合否判定基準						
		学部	合否判定基準				
		看護学部	面接の評価が一定の基準を満たす者を対象として、総合点（基礎学力問題、面接の合計点）の順位により判定します。				
		社会福祉学部	総合点（小論文、面接の合計点）の順位により判定します。				
		ソフトウェア情報学部	基礎学力問題の得点と総合判定資料（出願書類及び面接）の得点がいずれも合格基準点以上の者を対象として、基礎学力問題の得点及び総合判定資料により総合的に判定を行います。				
		総合政策学部	総合点（総合問題、面接の合計点）の順位により判定します。				
出願期間	令和7年11月4日（火）～令和7年11月11日（火）						
試験日	令和7年11月30日（日）						
合格発表日	令和7年12月9日（火）						

私費外国人留学生選抜

実施学部	全学部（看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部）で実施します。	
募集人員	各学部 若干名	
出願資格	日本の国籍を有しない者で次の(1)～(3)のすべてに該当する者とします。	
	(1) 次のいずれかに該当する者 ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了（卒業）した者及び令和8年3月31日までに修了（卒業）見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 イ 次のいずれか一つを外国において取得した者 ・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 ・グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA 資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 ・欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ人・バカロレア資格	
	(2) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、又は本学入学により有することとなる者（日本国永住者を除く）	
	(3) 独立行政法人日本学生支援機構が行う令和7（2025）年度日本留学試験（注1、注2）を学部の指定するところにより受験した者	
	学部	令和7（2025）年度日本留学試験の受験科目
		出題言語 受験科目
	看護学部	日本語 ・日本語 ・数学（コース1又はコース2） ・理科（生物、他1科目自由選択）
	社会福祉学部	日本語 ・日本語 ・数学（コース1） ・総合科目
	ソフトウェア情報学部	自由選択 ・日本語 ・数学（コース1又はコース2） ・総合科目又は理科（2科目自由選択）
	総合政策学部	日本語 ・日本語 ・数学（コース1） ・総合科目 総合政策学部に志願する者のうち、英語を母語としない者は、該当する試験の受験のほか、別途 TOEFL®（注3）又は TOEIC®（注4）の受験を要します。
(注1) ソフトウェア情報学部においては、令和6（2024）年度日本留学試験（出題言語及び受験科目は令和7（2025）年度日本留学試験に同じ。）又は令和7（2025）年度日本留学試験のいずれかの成績を利用します。		
(注2) 日本留学試験については、下記にお問い合わせください。 独立行政法人 日本学生支援機構留学生事業部留学試験課 電話：03-6407-7457 URL：https://www.jasso.go.jp		
(注3) TOEFL® は、TOEFL iBT®、TOEFL ITP® のいずれかを受験してください。 なお、令和5年11月4日以降に受験した上記の TOEFL® を有効とします。 TOEFL® については、下記にお問い合わせください。 ETS Japan 合同会社 URL：https://www.etsjapan.jp		
(注4) TOEIC® は、TOEIC Bridge® を除きます。 なお、令和5年11月4日以降に受験した上記の TOEIC® を有効とします。 TOEIC® については、下記にお問い合わせください。 (一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会 IIBC 試験運営センター 電話：03-5521-6033（土・日・祝日を除く 10：00～17：00） URL：https://www.iibc-global.org/toEIC.html		

選抜方法等	1 選抜方法						
	社会福祉学部 総合政策学部		日本留学試験並びに本学が要求する書類等の出願書類、本学が実施する小論文及び面接によって選抜します。				
	看護学部 ソフトウェア情報学部		日本留学試験並びに本学が要求する書類等の出願書類、本学が実施する基礎学力問題及び面接によって選抜します。				
	2 配点						
	学部		小論文	基礎学力問題	面接	出願書類等	合計
	看護学部		—	300	100	面接の資料	400
	社会福祉学部		100	—	50	面接の資料	150
	ソフトウェア情報学部		—	100	100		200
	総合政策学部		100	—	50	面接の資料	150
	3 出題範囲・出題意図						
		科目等		出題範囲・出題意図			
	看護	基礎学力問題		国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学A（全範囲）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題で、記述形式で解答するものです。			
		面	接	出願書類を面接の資料とし、意欲、適性、コミュニケーション能力、表現力を総合的に評価します。			
	社会福祉	小論文		理解力、判断力、論理的思考力、表現力を中心として総合的に評価する問題です。			
		面	接	志望動機、意欲、理解力、判断力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力などの観点から総合的に評価します。出願書類を面接の資料とします。			
	ソフトウェア情報	基礎学力問題		国語（古文、漢文を除く）、英語、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A（全範囲）、数学B（数列のみ）、数学C（ベクトルのみ）の学習範囲を中心として、文章読解・構成力、論理的思考力、数的処理能力などを問う問題です。			
		総合判定資料（書類・面接）		出願書類、面接をもとに、志望動機、意欲、適性、基礎学力、日本語能力などの観点から総合的に評価します。			
	総合政策	小論文		理解力、問題発見力、思考力、論理性、表現力を中心として総合的に評価する問題です。（英語の問題を含みません。）			
		面	接	志望動機、意欲、適性、能力、表現力などの観点から総合的に評価します。出願書類を面接の資料とします。			
	4 合否判定基準						
	学部		合否判定基準				
	看護学部		面接の評価が一定の基準を満たし、かつ、日本留学試験の得点が合格基準点以上の者を対象として、総合点（基礎学力問題、面接の合計点）の順位により判定します。				
	社会福祉学部		日本留学試験の得点が合格基準点以上の者を対象として、小論文及び面接の合計点により判定します。				
	ソフトウェア情報学部		基礎学力問題の得点と総合判定資料（日本留学試験の得点、出願書類及び面接）の得点がいずれも合格基準点以上の者を対象として、基礎学力問題の得点及び総合判定資料により総合的に判定します。				
	総合政策学部		総合点（小論文、面接の合計点）の順位により判定します。				
出願期間	令和7年11月4日（火）～令和7年11月11日（火）						
選抜期日	令和7年11月30日（日）						
合格発表日	令和8年1月23日（金）						

Ⅲ 令和 8 年度入学者選抜の概要（編入学）

編入学 [3年次編入]											
実施学部		出願期間		試験日	合格発表						
ソフトウェア情報学部		令和7年6月2日（月） ～ 令和7年6月4日（水）		令和7年6月14日（土）	令和7年6月23日（月）						
看護学部 社会福祉学部 総合政策学部		令和7年8月1日（金） ～ 令和7年8月5日（火）		令和7年9月4日（木）	令和7年9月16日（火）						
看護学部 看護学科											
募集人員・ 出願資格・ 選抜方法等	区分	募集人員	出願資格		選抜方法						
	一般	4名	次のすべてに該当する者 ① 次のいずれかに該当する者 ア 看護系短期大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 イ 看護系専修学校専門課程（※1）を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者（※2） ウ 高等学校等の専攻科において看護に関する学科を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者（※2） ② 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者 ア ①に掲げる学校において、英語の科目を4単位以上修得していること。 イ 実用英語技能検定2級以上の資格を有していること。 ウ TOEIC など看護学部が認める検定試験を2024年4月以降に受検し、実用英語技能検定2級以上と同等の試験結果を得ていること。		学力検査 （看護学、但し英語の問題は含まない） 及び面接によって行い、 面接の評価が一定の基準を満たす者を対象として、総合点の順位により判定します。 助産師養成特別選抜に係る学力検査「看護学」における配点の2分の1は、母性看護学とします。 <table><tr><td>看護学</td><td>200点</td></tr><tr><td>面接</td><td>50点</td></tr><tr><td>合計</td><td>250点</td></tr></table>	看護学	200点	面接	50点	合計	250点
	看護学	200点									
	面接	50点									
合計	250点										
推薦	3名	次のすべてに該当し、学長又は校長が責任を持って推薦できる者 ① 次のいずれかに該当する者 ア 岩手県内の看護系短期大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 イ 岩手県内の看護系専修学校専門課程（※1）を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者（※2） ウ 岩手県内の高等学校等の専攻科において看護に関する学科を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者（※2） ② 志望する学部、学科での勉学に対し、熱意と適性を有する者 ③ 合格した場合に、必ず編入学することを確約できる者 ④ 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者 ア ①に掲げる学校において、英語の科目を4単位以上修得していること。 イ 実用英語技能検定2級以上の資格を有していること。 ウ TOEIC など看護学部が認める検定試験を2024年4月以降に受検し、実用英語技能検定2級以上と同等の試験結果を得ていること。									
助産師養成特別	3名	次のA又はBのいずれかに該当する者 A 次のすべてに該当する者 ① 岩手県内の看護系専修学校専門課程を令和8年3月修了見込みの者、又は岩手県内の高等学校の専攻科において看護に関する学科を令和8年3月修了見込みの者 ② 助産師国家試験受験資格の取得を希望する者 ③ 卒業後、岩手県内において助産師として従事する強い意志を有する者 ④ 事前の単位認定調査において、既修得単位（修得見込みの単位も含む）と本学部の開設授業科目の内容、単位数及び時間数等を比較して単位認定を行った結果、2年間で助産学科目すべての単位と学士（看護学）の取得に必要な単位の履修が可能と判断された者 ⑤ 合格した場合に、必ず編入学することを確約できる者 ⑥ 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者 ア ①に掲げる学校において、英語の科目を4単位以上修得していること。 イ 実用英語技能検定2級以上の資格を有していること。 ウ TOEIC など看護学部が認める検定試験を2024年4月以降に受検し、実用英語技能検定2級以上と同等の試験結果を得ていること。									

募集人員・ 出願資格・ 選抜方法等	助産師養成特別	B 次のすべてに該当する者 ① 看護系短期大学を卒業した者、看護系専修学校専門課程を修了した者、又は高等学校の専攻科において看護に関する学科を修了した者 ② 看護師国家資格を取得しており、かつ助産師国家試験受験資格の取得を希望する者 ③ 令和7年4月1日現在岩手県内の医療機関等において看護業務に従事している者 ④ 卒業後、岩手県内において助産師として従事する強い意志を有する者 ⑤ 事前の単位認定調査において、既修得単位と本学部の開設授業科目の内容、単位数及び時間数等を比較して単位認定を行った結果、2年間で助産学科目すべての単位と学士（看護学）の取得に必要な単位の履修が可能と判断された者 ⑥ 合格した場合に、必ず編入学することを確約できる者 ⑦ 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者 ア ①に掲げる学校において、英語の科目を4単位以上修得していること。 イ 実用英語技能検定2級以上の資格を有していること。 ウ TOEIC など看護学部が認める検定試験を2024年4月以降に受検し、実用英語技能検定2級以上と同等の試験結果を得ていること。 ＜留意点＞ ○ 一般区分、推薦区分で編入した場合は、入学後に助産学科目の履修のための学内選考試験があります。助産師養成特別区分で編入した場合は、学内選考試験が免除されます。 ○ 助産師養成特別区分の事前の単位認定調査において、既修得単位（対象者Aにおいては修得見込みの単位も含む）認定の結果、2年間で助産学科目を履修できないと判断される場合は助産師養成特別区分を受験することができません。	
	計 10 名	推薦人数は、各短期大学、専修学校、高等学校等専攻科から1名です。	

社会福祉学部 社会福祉学科・人間福祉学科			
募集人員・ 出願資格・ 選抜方法等	区分	募集人員	出願資格
	一般	各学科 3名	次のいずれかに該当する者 (1) 他の大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 (2) 他の大学に2年以上在学（令和8年3月までに2年以上在学となる者を含む。）し、62単位以上修得（令和8年3月までに修得見込みを含む。）した者（※3） (3) 短期大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 (4) 学校教育法施行規則附則第7条1項に規定する従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 (5) 福祉系専修学校専門課程（※1）を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者（※2） (6) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者（※2）で、福祉に関する科目（※4）を修得（見込みを含む）した者
	推薦	各学科 2名	次のすべてに該当し、学長又は校長が責任を持って推薦できる者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 岩手県内の他の大学を令和8年3月卒業見込みの者 ② 岩手県内の短期大学を令和8年3月卒業見込みの者 ③ 岩手県内の福祉系専修学校専門課程（※1）を令和8年3月修了見込みの者（※2） ④ 岩手県内の高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者（※2）で、福祉に関する科目（※4）を修得（見込みを含む）した者 (2) 志望する学部、学科での勉学に対し、熱意と適性を有する者 (3) 合格した場合に、必ず編入学することを確認できる者
	社会人	各学科 若干名	次のいずれかに該当し、出願時に、その該当する事実が生じてから3年以上を経過する者 (1) 他の大学を卒業した者 (2) 短期大学を卒業した者 (3) 独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士を授与された者
	各学科5名 計10名		推薦人数は、各大学、短期大学、専修学校、高等学校等専攻科から各学科に対して1名です。

学力検査及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。	
総合問題	200点
面接	200点
合計	400点

小論文及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。	
小論文	50点
面接	100点
合計	150点

小論文及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。	
小論文	100点
面接	100点
合計	200点

ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科			
募集人員・ 出願資格・ 選抜方法等	区分	募集人員	出願資格
	一般	4名	次のいずれかに該当する者 (1) 他の大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 (2) 他の大学に2年以上在学（令和8年3月までに2年以上在学となる者を含む。）し、62単位以上修得（令和8年3月までに修得見込みを含む。）した者（※3） (3) 短期大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 (4) 高等専門学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 (5) 専修学校専門課程（※1）を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者（※2） (6) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者（※2）
			学力検査（専門科目・英語）、面接及び出願書類（学業成績証明書、志願者記録等）によって行い、専門科目・英語及び総合判定資料により総合的に判定します。なお、専門科目・英語の得点、又は総合判定資料の評価が合格基準点未満である場合、不合格となります。ただし、各科目はそれぞれ以下の試験に合格で解答を免除します。 （専門科目：実用数学技能検定準1級以上、又は基本情報技術者試験同等以上、英語：実用英語技能検定2級同等以上に合格、若しくはTOEIC550点同等以上を取得） 専門科目：離散数学、線形代数、プログラミング（アルゴリズム及びC言語）の3題から1題選択 英語（必須） 200点 総合判定資料（書類・面接） 200点
	推薦	県内枠 4名 全国枠 2名	次のすべてに該当し、学長又は校長が責任を持って推薦できる者 (1) 次のいずれかに該当する者 〔県内枠〕 ① 岩手県内の高等専門学校の<u>指定する学科</u>を令和8年3月卒業見込みの者 ② 岩手県内の短期大学又は高等専門学校を令和8年3月卒業見込みの者で、<u>指定する科目</u>を20単位以上修得（令和8年3月までに修得見込みの科目を含む。）した者 ③ 岩手県内の専修学校専門課程（※1）を令和8年3月修了見込みの者で指定する科目を16単位以上修得（見込みを含む）し、次の「専門分野」、「英語」のそれぞれで指定する試験に合格した者（※△） i) 専門分野：基本情報技術者試験又は応用情報技術者試験 ii) 英語：実用英語技能検定2級同等以上、若しくはTOEIC550点同等以上 （※△）出願資格③に該当することにより出願しようとする者は、事前に出願資格審査を受ける必要があります。詳しくは募集要項をご覧ください。 〔全国枠〕 ① 高等専門学校の<u>指定する学科</u>を令和8年3月卒業見込みの者 ② 短期大学又は高等専門学校を令和8年3月卒業見込みの者で、<u>指定する科目</u>を20単位以上修得（令和8年3月までに修得見込みの科目を含む。）した者 (2) 県内枠、全国枠ともに、志望する学部、学科での勉学に対し、熱意と適性を有する者 (3) 県内枠、全国枠ともに、合格した場合に、必ず編入学することを確約できる者 <u>指定する学科</u>：学科・コース・系などの、名称に「情報」を含むもの。（例：情報工学科） <u>指定する科目</u>：ソフトウェア情報学部で、2年次までに開講される科目のうち、専門共通科目と展開科目に相当する科目 参考：主な専門共通科目と展開科目 離散数学、統計学、線形代数、解析学、コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム論、情報ネットワーク論、ソフトウェア設計学、アルゴリズム論、ファイルとデータベース、ハードウェア基礎、ソフトウェア演習（C言語、Java）、デジタル回路など ※詳しくは、教育支援室入試グループにお問い合わせください。
		計10名	推薦人数は、岩手県内の短期大学、高等専門学校から県内枠及び全国枠にそれぞれ2名以内、岩手県内の専修学校専門課程から県内枠に2名以内、県外の短期大学、高等専門学校から全国枠に2名以内です。

※ ソフトウェア情報学部の令和8年度入学者選抜（編入学）は終了しました。

総合政策学部 総合政策学科			
募集人員・ 出願資格・ 選抜方法等	区分	募集人員	出願資格
	一般	7名	次のすべてに該当する者 ① 次のいずれかに該当する者 ア 他の大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 イ 他の大学に2年以上在学（令和8年3月までに2年以上在学となる者を含む。）し、62単位以上修得（令和8年3月までに修得見込みを含む。）した者（※3） ウ 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 エ 学校教育法施行規則附則第7条1項に規定する従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 オ 専修学校専門課程（※1）を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者（※2） ② 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者 ア ①に掲げる学校において、英語の科目を4単位以上修得していること。 イ 実用英語技能検定2級以上の資格を有していること。 ウ 次の資格・検定試験を2024年4月以降に受検していること。 i) 実用英語技能検定（2級以上） ii) その他、総合政策学部が認める資格・検定試験
	推薦	3名	次のすべてに該当し、学長又は校長が責任を持って推薦できる者 ① 次のいずれかに該当する者 ア 岩手県内の他の大学を令和8年3月卒業見込みの者 イ 岩手県内の短期大学又は高等専門学校を令和8年3月卒業見込みの者 ウ 岩手県内の専修学校専門課程（※1）を令和8年3月修了見込みの者（※2） ② 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者 ア ①に掲げる学校において、英語の科目を4単位以上修得していること。 イ 実用英語技能検定2級以上の資格を有していること。 ウ 次の資格・検定試験を2024年4月以降に受検していること。 i) 実用英語技能検定（2級以上） ii) その他、総合政策学部が認める資格・検定試験 ③ 学部の教育理念を理解し、勉学と熱意と適性を有する者 ④ 合格した場合に、必ず編入学することを確約できる者
		計10名	推薦人数は、各大学、短期大学、高等専門学校、専修学校から1名です。

総合問題(英語の問題を含まない) 及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。	
総合問題	200点
面接	50点
合計	250点

総合問題	200点
面接	100点
合計	300点

- (※1) 修業年限2年以上で、かつ課程修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専修学校専門課程に限る。
- (※2) ただし、学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。学校教育法第90条第1項に規定する者は次のとおり。
- ・ 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
 - ・ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
 - ・ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (※3) 「他の大学に2年以上」の在学期間には、休学期間を含まない。
- (※4) 「福祉に関する科目」について不明な場合は、教育支援室入試グループにお問い合わせください。

障がいのある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する方で、障がいがある等、受験上及び就学上の配慮を希望する場合は、教育支援室入試グループへ下記の期限までに申し出てください。

この申し出がない場合、受験上及び就学上の配慮を行うことが難しくなることがあります。日常生活において使用している補聴器、車椅子等を持参しようとする場合も、申請が必要です。

障がいの程度によっては、受験上の配慮（障がいの程度に応じ、例えば、視覚障がいの場合は、試験時間の 1.3 倍延長・別室での受験・拡大文字による出題、下肢機能障がいの場合は、車椅子での受験・試験室への誘導等）を行うことがあります。

(1) 相談の期限

ソフトウェア情報学部	令和 7 年 5 月 23 日（金）
看護学部、社会福祉学部、総合政策学部	令和 7 年 7 月 22 日（火）

(2) 相談の方法

所定の「配慮申出書」に所要事項を記入のうえ提出してください。必要な場合は、志願者又はその立場を代弁する出身学校関係者等との面談等を行います。

「配慮申出書」の請求については、教育支援室入試グループへお問い合わせください。

事前相談期限後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため配慮を希望する場合は、すみやかに申し出てください。

Ⅳ 令和 7 年度入学者選抜合格者成績統計及び選抜結果

1 一般選抜合格者成績統計

合格者の最高点、最低点及び平均点

学部等	前期日程				後期日程 ※ソフトウェア情報学部は中期日程			
	最高点	最低点	平均点	満点	最高点	最低点	平均点	満点
看護学部	931	654	710	1200	691	564	589	950
社会福祉学部	938	722	782	1200	614	522	563	800
ソフトウェア情報学部	734	486	551	1000	655	478	538	800
総合政策学部	526	433	458	730	376	318	342	530

※大学入学共通テスト及び個別学力検査の合計点の最高点・最低点・平均点です。

2 学校推薦型選抜合格者成績統計

合格者の最高点、最低点及び平均点

学部等		最高点	最低点	平均点	満点
看護学部		280	194	227	350
社会福祉学部		127	99	109	150
ソフトウェア情報学部	一般〔県内〕	142	103	121	200
	専門合高等学校科	161	111	129	200
総合政策学部		159	124	138	200

※社会福祉学部の専門高校・総合学科及びソフトウェア情報学部一般〔全国〕は、志願者が少数のため非公開とします。

3 選抜結果（新入学）

（単位：人、倍）

選抜区分	学 部	募集人員 (a)	志願者数 (b)	受験者数 (c)	合格者数 (d)	入学者数 (e)	実質倍率 (c) / (d)
前期日程	看護学部	53	117	103	53	51	1.9
	社会福祉学部	40	101	100	48	47	2.1
	ソフトウェア情報学部	70	188	179	83	78	2.2
	総合政策学部	50	117	117	55	54	2.1
	計	213	523	499	239	230	2.1
日中 日程期	ソフトウェア情報学部	15	348	126	23	12	5.5
	計	15	348	126	23	12	5.5
後期日程	看護学部	10	179	43	13	9	3.3
	社会福祉学部	9	82	33	10	10	3.3
	総合政策学部	20	172	55	25	22	2.2
	計	39	433	131	48	41	2.7
総合型	看護学部	-	-	-	-	-	-
	社会福祉学部	4	35	35	4	4	8.8
	ソフトウェア情報学部	20	74	74	20	20	3.7
	総合政策学部	若干名	29	29	3	3	9.7
	計	24	138	138	27	27	5.1
学校推薦型 (一般)	看護学部	27	59	59	29	29	2.0
	社会福祉学部	37	81	81	39	39	2.1
	社会福祉・人間福祉学科 [県内]	27	61	61	29	29	2.1
	社会福祉・人間福祉学科 [全国]	10	20	20	10	10	2.0
	ソフトウェア情報学部	35	50	50	36	36	1.4
	ソフトウェア情報学部 [県内]	30	40	40	30	30	1.3
	ソフトウェア情報学部 [全国]	5	10	10	6	6	1.7
	総合政策学部	30	50	50	30	30	1.7
	計	129	240	240	134	134	1.8
学校推薦型 (専門・総合)	社会福祉学部	若干名	3	3	1	1	3.0
	ソフトウェア情報学部	20	29	29	23	23	1.3
	計	20	32	32	24	24	1.3
帰国生徒	看護学部	若干名	1	1	0	0	-
	社会福祉学部	若干名	0	0	0	0	-
	ソフトウェア情報学部	若干名	0	0	0	0	-
	総合政策学部	若干名	0	0	0	0	-
	計	若干名	1	1	0	0	-
社会人	看護学部	若干名	0	0	0	0	-
	社会福祉学部	若干名	0	0	0	0	-
	ソフトウェア情報学部	若干名	0	0	0	0	-
	総合政策学部	若干名	0	0	0	0	-
	計	若干名	0	0	0	0	-
私費外国人留学生	看護学部	若干名	0	0	0	0	-
	社会福祉学部	若干名	1	1	0	0	-
	ソフトウェア情報学部	若干名	1	1	0	0	-
	総合政策学部	若干名	0	0	0	0	-
	計	若干名	2	2	0	0	-
合計	看護学部	90	356	206	95	89	2.2
	社会福祉学部	90	303	253	102	101	2.5
	ソフトウェア情報学部	160	690	459	185	169	2.5
	総合政策学部	100	368	251	113	109	2.2
	計	440	1717	1169	495	468	2.4

※募集人員が若干名の入試については、定員枠外となります。

4 選抜結果（編入学）

（単位：人、倍）

選抜 区分	学 部	募集人員 (a)	志願者数 (b)	受験者数 (c)	合格者数 (d)	入学者数 (e)	実質倍率 (c) / (d)
一般入試	看護学部	4	5	5	5	5	1.0
	社会福祉学部	6	16	16	9	8	1.8
	社会福祉学科	3	10	10	4	4	2.5
	人間福祉学科	3	6	6	5	4	1.2
	ソフトウェア情報学部	4	11	11	9	5	1.2
	総合政策学部	7	26	24	9	7	2.7
	計	21	58	56	32	25	1.8
推薦入試	看護学部	3	0	0	0	0	-
	社会福祉学部	4	2	2	1	1	2.0
	社会福祉学科	2	1	1	1	1	1.0
	人間福祉学科	2	1	1	0	0	-
	ソフトウェア情報学部	6	4	4	4	4	1.0
	県内枠	4	2	2	2	2	1.0
	全国枠	2	2	2	2	2	1.0
	総合政策学部	3	2	2	2	2	1.0
	計	16	8	8	7	7	1.1
入社会 試人	社会福祉学部	若干名	0	0	0	0	-
	社会福祉学科	若干名	0	0	0	0	-
	人間福祉学科	若干名	0	0	0	0	-
	計	若干名	0	0	0	0	-
養成 特別 枠	看護学部	3	1	1	0	0	-
	計	3	1	1	0	0	-
合計	看護学部	10	6	6	5	5	1.2
	社会福祉学部	10	18	18	10	9	1.8
	社会福祉学科	5	11	11	5	5	2.2
	人間福祉学科	5	7	7	5	4	1.4
	ソフトウェア情報学部	10	15	15	13	9	1.2
	総合政策学部	10	28	26	11	9	2.4
	計	40	67	65	39	32	1.7

※募集人員が若干名の入試については、定員枠外となります。

V 令和 9 年度入学者選抜の変更点

(下線部が変更箇所)

1 社会福祉学部

社会福祉学部における編入学の出願資格及び選抜方法等を次のとおり変更します。

	変更前	変更後												
編入学 (一般)	出願資格 次のいずれかに該当する者 (1)～(6) (略) 選抜方法 学力検査及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。 <table><tr><td>総合問題</td><td>200 点</td></tr><tr><td>面 接</td><td>200 点</td></tr><tr><td>合 計</td><td>400 点</td></tr></table>	総合問題	200 点	面 接	200 点	合 計	400 点	出願資格 <u>次のすべてに該当する者</u> <u>1 次のいずれかに該当する者</u> (1)～(6) (略) <u>2 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者</u> <u>(1) 1 に掲げる学校において英語の科目を 4 単位以上修得していること。</u> <u>(2) 実用英語技能検定 2 級以上の資格を有していること。</u> <u>(3) TOEIC など社会福祉学部が認める検定試験を 2025 年 4 月以降に受検し、実用英語技能検定 2 級以上と同等の試験結果を得ていること。</u> 選抜方法 学力検査及び面接によって行い、総合点の順位により判定します。 <table><tr><td>総合問題</td><td>100 点</td></tr><tr><td>面 接</td><td>100 点</td></tr><tr><td>合 計</td><td>200 点</td></tr></table> ※令和 9 年度入試より英語の要件を出願資格に含めたことから、総合問題には英文を読解する問題は含まれません。	総合問題	100 点	面 接	100 点	合 計	200 点
総合問題	200 点													
面 接	200 点													
合 計	400 点													
総合問題	100 点													
面 接	100 点													
合 計	200 点													
編入学 (推薦)	出願資格 次のすべてに該当し、学長又は校長が責任を持って推薦できる者 (1)～(3) (略)	出願資格 次のすべてに該当し、学長又は校長が責任を持って推薦できる者 (1)～(3) (略) <u>(4) 英語に関して次のいずれかの条件を満たす者</u> <u>① (1)に掲げる学校において英語の科目を 4 単位以上修得していること。</u> <u>② 実用英語技能検定 2 級以上の資格を有していること。</u> <u>③ TOEIC など社会福祉学部が認める検定試験を 2025 年 4 月以降に受検し、実用英語技能検定 2 級以上と同等の試験結果を得ていること。</u>												

Ⅵ 参考資料

1 学生募集要項等の公開時期

資 料 名			公開時期
学 生 募 集 要 項 (願書)	総合型選抜 *		令和7年7月上旬
	学校推薦型選抜 *		令和7年9月上旬
	帰国生徒選抜 社会人選抜 私費外国人留学生選抜		令和7年9月上旬
	一般選抜（前期日程、中期日程、後期日程） *		令和7年10月下旬
	編入学	ソフトウェア情報学部 *	令和7年4月上旬
		看護学部 *	令和7年4月上旬
		社会福祉学部 * 総合政策学部 *	令和7年6月下旬
その他	入学案内		令和7年5月中旬
	過去問題	ホームページでの公開 (過去3年分の問題と解答例)	令和7年8月上旬

※ 募集要項は本学ホームページからダウンロードできます。

※ *の付いた選抜は、インターネット出願です。

※ 過去問題の配付は行っておりません。

2 資料請求方法

資料請求は、 テレメールへの請求が手軽で便利です。ただし、「入学案内」、「入学者選抜要項」のみの取扱いとなります。その他の資料は、(2)により大学へ直接請求してください。

(1) テレメールでの請求方法

ア 大学のホームページから請求する場合

本学のホームページから直接、 テレメールによる資料請求ができます。

イ インターネット（パソコン・スマホ）で請求する場合

① 下記のサイトにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ)	https://telemail.jp		バーコードからアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。
-----------------------	---	---	----------------------------------

② 請求する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金（送料含む※） （見込み）	発送開始時期（予定）
入学案内のみ	5 6 0 7 1 2	250 円	6 月上旬
入学者選抜要項のみ	5 8 0 7 1 2	180 円	7 月下旬
入学者選抜要項＋入学案内	5 6 0 7 0 2	250 円	7 月下旬

※ 送料のほか、別途払込手数料が必要です。

※ 上記の料金は令和7年6月現在のものです。料金が改定された場合には、改定後の料金が適用されますので、利用する際は利用日時点での料金を確認のうえ請求してください。

③ ガイダンスに従って登録してください。

(1) のア、イに関する注意事項

- ・ テレメールのパスワードを登録済みの方はお届け先の登録は不要です。
 - ・ 請求から3～5日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては1週間以上かかる場合もあります。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。
 - ・ 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。料金はお届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認のうえ、資料到着後1週間以内に表示料金をお支払いください。なお、別途払込手数料が必要になります。
- PayPay、携帯キャリア・クレジット払いは30円、コンビニ・スマホアプリ（LINEPay・auPAY）の請求書払いは118円です。複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。なお、上記の金額は令和7年6月現在のものです。払込手数料が改定された場合には、改定後の金額が適用されますので、利用する際は利用日時点での金額を確認のうえお支払いください。
- ・ 資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。



(1) の請求方法についてのお問合せ先

テレメールカスタマーセンター

TEL050-8601-0102 (9:30~18:00)

(2) 本学への請求方法

ア 資料請求フォームによる場合

本学ホームページの資料請求ページ (<https://www.iwate-pu.ac.jp/examination/Handouts.html>) の資料請求フォームよりお申し込みください。

※ 大学による資料請求確認後、ゆうメールの着払い（214円～394円程度）にて、通常1～2日で発送します。（休日を除く。）

イ 来学による場合

平日の8:30から17:15までの受付となります。（休日を除く。）岩手県立大学教育支援室入試グループまでお越しください。

(3) モバっちょを利用して請求する場合

ア 本学ホームページから請求する場合

本学のホームページから、直接、モバっちょによる請求ができます。

イ インターネット（パソコン・スマホ・携帯電話）で請求する場合

① モバっちょ資料請求ページ (<https://djcm-b.jp>) からモバっちょにアクセスしてください。

※ こちらの二次元バーコードから直接資料請求ページにアクセスできます。



② 大学選択から本学を選んだ後、請求を希望する資料を選択してください。

資 料 名	料金（送料含む）（見込み）※	発送開始日（予定）
入学案内のみ	250円（メール便）	6月上旬
入学者選抜要項＋入学案内	350円（メール便）	7月下旬

※ 上記の料金は令和7年6月現在のものです。料金が改定された場合には、改定後の料金が適用されますので、利用する際は利用日時点での料金を確認のうえ請求してください。

③ 引き続き画面の指示に従って登録してください。

ア、イに関する注意事項

- ・ メール便で請求した場合は2～5日後（宅配便又はレターパック（郵便）での発送の場合は約1～3日後）に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては5日以上かかる場合もあります。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。
- ・ 料金は登録時に選択したお支払い方法でお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要になります。携帯払い、スマホ払い、クレジットカード決済は50円、コンビニ後払いは126円です。複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。なお、上記の金額は令和7年6月現在のものです。払込手数料が改定された場合には、改定後の金額が適用されますので、利用する際は利用日時点での金額を確認のうえお支払いください。

(3)のア、イの請求方法についてのお問い合わせ先：
大学情報センター株式会社
モバっちョ カスタマーセンター
TEL：050-3540-5005
(平日 10：00 ～ 18：00) ※資料請求はインターネットからのみ受け付け。
URL：https://daigakuic.co.jp (PC 版)

3 個人情報の取り扱いについて

各入学者選抜の出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、法令に基づく場合を除き、原則として第三者に提供することはありません。なお、入学者選抜に用いた個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学者選抜に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のための業務などを含む）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。

4 インターネット・SNS を利用した入試情報の提供

岩手県立大学ホームページにおいて、各選抜の出願状況や選抜結果、選抜内容の変更などの入試に関する通知等も随時掲載します。

岩手県立大学ホームページ <https://www.iwate-pu.ac.jp>

受験生向け携帯サイト <https://daigakuic.jp/iwate-pu>



5 岩手県立大学までの交通

鉄道利用：盛岡駅から I G R いわて銀河鉄道 滝沢駅（約 15 分）、滝沢駅から徒歩約 15 分

バス利用：盛岡駅東口 2 番乗場から岩手県交通「県立大学行」バス（約 40 分）

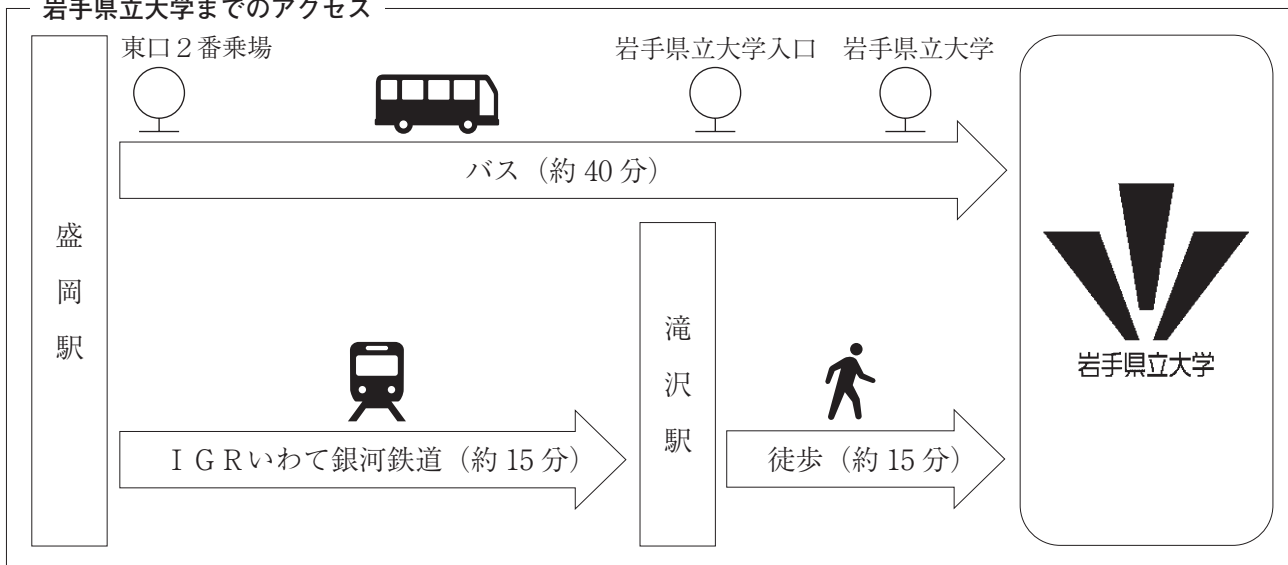
・岩手県交通：系統番号 251、252 の一部（岩手県立大学に停車するか必ずご確認ください。）

・バス停「岩手県立大学」下車

※ バス停「岩手県立大学入口」で降りると、大学構内まで 5 分程度かかりますのでご注意ください。

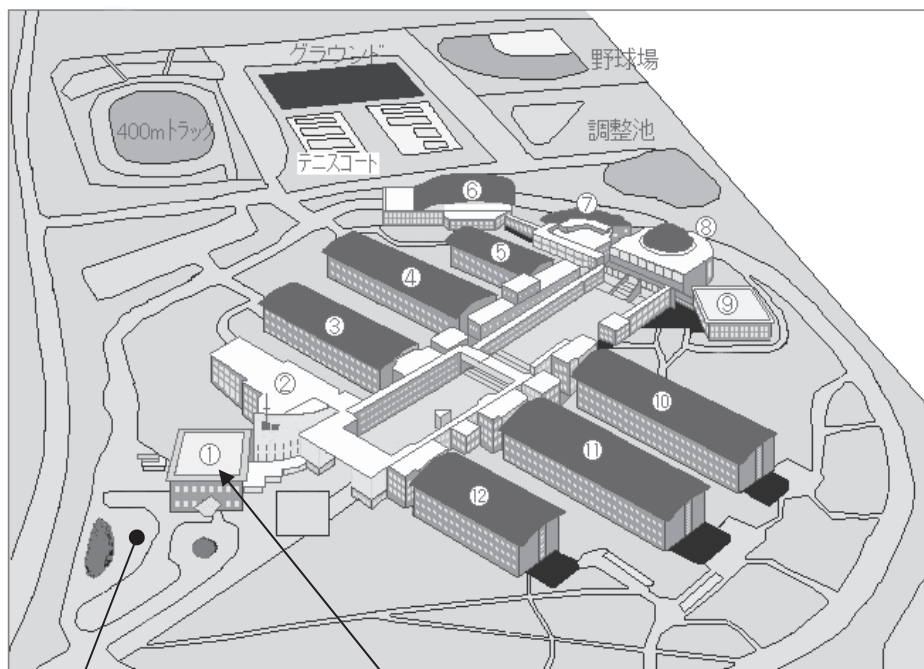
※ 鉄道、バスともに運行状況を確認のうえご利用ください。

岩手県立大学までのアクセス



岩手県立大学 配置図

1. 本部棟	2. 共通講義棟	3. 総合政策学部棟	4. ソフトウェア情報学部A棟
5. ソフトウェア情報学部B棟	6. 体育棟	7. 学生ホール棟	8. メディアセンターA棟
9. メディアセンターB棟	10. 社会福祉学部棟	11. 看護学部棟	12. 短期大学部棟



バス停「岩手県立大学」

教育支援室 入試グループ（本部棟2階）

6 岩手県立大学への問い合わせ

本学への各種問い合わせについては、下記により行ってください。

〔問い合わせ日時〕

月曜日から金曜日まで（休日を除く）8：30～12：00 及び 13：00～17：15

〔入学試験・入学料納付に関する問い合わせ先〕

- 教育支援室 入試グループ（本部棟2階）
〒020-0693 岩手県滝沢市巢子 152-52
TEL 019-694-2014 FAX 019-694-2035
Mail ipu-nyushi@ml.iwate-pu.ac.jp

〔問い合わせ電話番号〕

- 奨学金・授業料免除 [学生支援グループ 019-694-2010]
- 学生寮 [学生支援グループ 019-694-2010]
- 授業料納付 [管財契約グループ 019-694-2002]
- 授業内容、取得可能な資格 [教務管理グループ 019-694-2012]

